

目 次

会期日程	1
議決一覧	2
◇ 7月7日(月)	
出欠議員氏名	3
地方自治法第121条による出席者	4
開 会	5
会議録署名議員の指名	5
会期の決定	5
議案の上程	5
議案質疑	7
討論・採決	13
閉 会	13

平成26年第2回嬉野市議会臨時会 会期日程表

会期1日間 7月7日

日次	月 日	開議時刻	区 分	日 程
第1日	7月7日(月)	午前10時	本会議	開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、議案の上程、議案質疑、討論・採決、閉会

平成26年第2回嬉野市議会臨時会議決一覧

議案番号	件名	議決日	議決結果
議案第56号	平成26年度嬉野市一般会計補正予算（第3号）	7月7日	原案可決

平成26年第2回嬉野市議会臨時会会議録

招 集 年 月 日	平成26年7月7日					
招 集 場 所	嬉野市議会議場					
開 閉 会 日 時 及 び 宣 告	開会	平成26年7月7日 午前10時06分			議 長 田 口 好 秋	
	閉会	平成26年7月7日 午前10時36分			議 長 田 口 好 秋	
応（不応）招 議員及び出席 並びに欠席議員	議席 番号	氏 名	出欠	議席 番号	氏 名	出欠
	1番	生 田 健 児	出	10番	山 口 政 人	出
	2番	宮 崎 良 平	出	11番	芦 塚 典 子	出
	3番	川 内 聖 二	出	12番	大 島 恒 典	出
	4番	増 田 朝 子	出	13番	梶 原 睦 也	出
	5番	森 田 明 彦	出	14番	田 中 政 司	出
	6番	辻 浩 一	出	15番	織 田 菊 男	出
	7番	山 口 忠 孝	出	16番	西 村 信 夫	出
	8番	田 中 平 一 郎	出	17番	山 口 要	出
	9番	山 下 芳 郎	出	18番	田 口 好 秋	出

地方自治法 第121条の規定 により説明の ため議会に出席 した者の職氏名	市長	谷口 太一郎	企画政策課長	池田 幸一
	副市長	中島 庸二	市民協働推進課長	田中 秀則
	教育長	杉崎 士郎	文化・スポーツ振興課長	宮崎 康弘
	総務部長	筒井 保	福祉課長	池田 秋弘
	企画部長	中島 憲郎	健康づくり課長	飯田 邦芳
	健康福祉部長		健康福祉課長	田中 昌弘
	産業振興部長	山口 健一郎	農林課長	
	建設部長	中尾 嘉伸	うれしの温泉観光課長	
	教育部長 教育総務課長兼務	井上 嘉徳	うれしの茶振興課長 農業委員会事務局長兼務	
	会計管理者 会計課長兼務	山口 久義	建設・新幹線課長	
	総務課長 選挙管理委員会事務局長兼務	池田 英信	環境下水道課長	横田 泰次
	財政課長	中野 哲也	水道課長	
	市民課長	白濱 須麻子	学校教育課長	池田 正昭
	税務収納課長		監査委員事務局長	
本会議に職務 のため出席した 者の職氏名	議会事務局長	永江 邦弘		

平成26年第2回嬉野市議会臨時会議事日程

平成26年7月7日（月）

本会議第1日目

午前10時 開 議

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 議案第56号 平成26年度嬉野市一般会計補正予算（第3号）
日程第4 議案質疑
議案第56号 平成26年度嬉野市一般会計補正予算（第3号）
日程第5 討論・採決
議案第56号 平成26年度嬉野市一般会計補正予算（第3号）

午前10時6分 開会

○議長（田口好秋君）

皆さんおはようございます。本日、嬉野市議会臨時会が招集されましたところ、お忙しい中、御参集くださいまして御苦労さまでございます。

本日は全員出席であります。定足数に達しておりますので、ただいまから平成26年第2回嬉野市議会臨時会を開会いたします。

それでは、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

日程第1．会議録署名議員の指名を行います。

嬉野市議会会議規則第85条の規定により、会議録署名議員に10番山口政人議員、11番芦塚典子議員、12番大島恒典議員を今会期中指名いたします。

日程第2．嬉野市議会会議規則第4条の規定により、会期の決定を議題といたします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日1日間としたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。会期は本日1日間に決定いたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付しております会期日程のとおりでありますので、御了承願います。

日程第3．議案第56号 平成26年度嬉野市一般会計補正予算（第3号）を議題といたします。

朗読を省略いたしまして、提案理由の説明を求めます。市長。

○市長（谷口太一郎君）

皆さんおはようございます。傍聴の皆さんにおかれましては、早朝から御臨席賜りましてありがとうございます。

それでは、平成26年第2回臨時会の提案理由について述べさせていただきたいと思います。

このたび、嬉野市議会臨時会を招集し、平成26年度一般会計補正予算につきまして御審議をお願いすることになりましたので、その概要について御説明を申し上げます。

議案第56号 平成26年度嬉野市一般会計補正予算（第3号）について御説明いたします。

このたび、大野原地区内の自然環境を保全することが特に必要な同地区内の土地を購入いたしたく、その用地を嬉野市土地開発公社において先行取得するため、新たに1億4,929万8,000円の債務負担行為を追加補正し、それに伴う債務保証の債務負担行為の額を増額補正するものでございます。

以上、大変簡単ではございますが、議案の概要説明を終わらせていただきます。詳細につきましては、担当部長が御説明申し上げますので、よろしく御審議のほどをお願い申し上げます。

以上で提案理由とさせていただきます。

○議長（田口好秋君）

これで提案理由の説明を終わります。

次に、提出された議案の細部説明を求めます。

議案第56号について説明を求めます。企画部長。

○企画部長（中島憲郎君）

それでは、議案第56号 平成26年度嬉野市一般会計補正予算（第3号）について、詳細を説明させていただきます。

別紙資料により説明をいたします。

今回の取得用地につきましては、嬉野町大野原地区内でございます。地番は嬉野町大字岩屋川内丙1027番地1、ほか7筆でございます。総面積につきましては、3万5,744平米でございます。現在所有されている所有者につきましては、佐賀県嬉野町大字岩屋川内丙1027番地5、株式会社肥前環境でございます。

今回、取得予定金額といたしまして1億4,900万円、今回先行取得公用地の購入に係る経費につきましては、事務費29万8,000円を含みます1億4,929万8,000円でございます。

以上、詳細説明を終わります。

○議長（田口好秋君）

これで議案の細部説明を終わります。

お諮りします。議案第56号につきましては、委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議案第56号につきましては委員会付託を省略することに決定いたしました。

日程第4．議案質疑を行います。

議案第56号 平成26年度嬉野市一般会計補正予算（第3号）の質疑を行います。質疑ありませんか。山口政人議員。

○10番（山口政人君）

まず、副市長にお尋ねをしたいというふうに思います。

まず、今回の土地購入につきましては、一般会計からじゃなくて土地開発公社ということになっておりますけど、これはなぜなのか、お尋ねをしたいというふうに思います。

○議長（田口好秋君）

副市長。

○副市長（中島庸二君）

お答えいたします。

今回の取得につきましては、当初土地開発基金で購入をする予定も考えておりました。ただし、この案件につきましては、大野原の自然環境を保護するというので、今後、取得をしまして、どのような開発をするかということがまだはっきりしておりません。それと、県、国の補助事業等にもものせたいということで、地所が市の土地になりますと、その辺の取得に関しても補助が受けられない可能性がございまして、土地開発公社に依頼をされたものでございます。私は、土地開発公社の理事長でもありますけれども、その旨を受けて理事会も開催をさせていただきました。

以上です。

○議長（田口好秋君）

山口政人議員。

○10番（山口政人君）

それでは、土地開発公社で購入をすればいろんな補助事業にのせられるというようなことで、そして、市が買い取る場合に補助事業にはのせられるというようなことで理解をさせていただいておられますか。

それとあと、その場所で何か事業を考えておられるのかということと、それから、いわゆる公社で購入をするということになれば、公社としては資金がない、金融機関から借入れをしなければならないというようなことになりまして、その返済はどのように考えておられるのか、そしてもう1点、市はこの5年間という債務負担行為がありますけど、5年以内に市が買い取るということになりますか、それとも一、二年のうちに買い取る予定なのか、そこら辺までお尋ねをしたい。

○議長（田口好秋君）

副市長。

○副市長（中島庸二君）

お答え申し上げます。

まず1点目でございますけれども、確かに、公社で取得をすればいろいろな形で、また買い取る場合に補助事業でもいいでしょうし、また、取得についてはほかのことでも考えられるんじゃないかと思えます。例えば、当然市が買い取る場合もありますし、ほかの事業で何かに転売できればできるんじゃないかならうかと思えます。ただ、今おっしゃったように、公社の土地であれば補助事業は当然、いろいろな形の事業が決まればそういう形で推進はできるかということで考えております。

2番目ですけれども、返済については、当初債務負担5年間でございますけれども、当然、事業が新たに見つかれば早急に市として買い戻す必要があるかと思えますので、その辺は適時、その時期に来れば当然買い戻していただくということで考えております。

跡地利用については、今後検討したいと思えますけれども、一応、今のところ被覆されておりますので、まず、森林に戻す手がございます。それと、将来計画でございますけど、高地でありますので、もし自然環境を整えば、大野原の運動場と一緒にいろいろなスポーツ施設とか合宿とか、いろいろな形ができることも考えられると思えます。不明確でございますけれども、そういう展望もできるんじゃないかならうかと思っております。

以上でございます。

○議長（田口好秋君）

山口政人議員。

○10番（山口政人君）

それでは、この返済金については、公社のほうには金がないと。実際はあると思えます、この決算書を見たらですね。それと、どんぶり勘定というようなことにはならないというふうに思えますので、やはり一般会計からの繰入金というようなことになると思えますけど、そのように今の答弁では理解をしいわけですかね。

それと、もう1点は、いわゆる債務負担行為を起こすということにつきましては、公社関係につきましては、その費用につきましてもやはり将来の負担比率、これにかかってくるというふうに思うわけですね。ですから、この将来の負担比率、これがこれでもってどのくらい、何%ぐらいに今なっているのか、なるのか。そこまでお尋ねをしたい。

○議長（田口好秋君）

副市長。

○副市長（中島庸二君）

お答えいたします。

買い取りにつきましては、当然、買い取り申し入れを市からさせていただいておりますので、

ある時期になれば、当然市の一般会計なり一般財源なり土地開発基金で買い戻していただくという形になります。

それと、債務につきましては、毎年、要するに市で買っていただくところでありますけれども、公社で借り入れておれば、当然その利息関係が出てきますので、その分ずっと債務になってきます。だから、できるだけ健全な経営をするためには、早急に買い戻していただきたいというのが公社の立場だろうとは思いますが。

以上でございます。

○議長（田口好秋君）

財政課長。

○財政課長（中野哲也君）

お答えいたします。

債務負担行為に関する債務の負担の割合がいかほどになるかという御質問でありましたけれども、今現在、資料を持ち合わせておりませんので、正確には申し上げられませんので、後ほど資料でお渡ししたいと思います。よろしく申し上げます。

○議長（田口好秋君）

暫時休憩します。

午前10時19分 休憩

午前10時20分 再開

○議長（田口好秋君）

再開します。

副市長。

○副市長（中島庸二君）

お答えいたします。

今までの土地開発公社の運営方法といたしまして、今回、新幹線の駅前の部分も一緒でしょうけれども、普通に市からの買い入れ申し入れがあった場合に、それについては公社で、当然市から債務保証していただいておりますので、公社として借入れをいたします。期間的には1年で借入れをいたしまして、翌年また一度返済をいたしまして、その分の総額についてまた利息をつけて借入れるというふうな、言葉は悪いですけど、自転車操業ではありませんが、そういう形の繰り返しを今まではずっと行ってまいりました。

ただ、ここ嬉野町時代、また塩田町の時代も一緒だと思いますけれども、基本的に、塩漬け土地とかではございませんので、そういうやり方は全然やっておりますけれども、今後はそういう形で1年更新の借入返済、借入返済という形で運用をしていくと思います。

以上でございます。

○議長（田口好秋君）

山口要議員。

○17番（山口 要君）

まず1点目にお尋ねをしたいのは、開発公社の理事長という立場でお答えいただくのか、副市長という立場でお答えいただくのか、それは本人に考えていただくこととして、今回の予算をこういう形で債務負担行為を上げ、開発公社で買うということに至った経緯、そして結局予算づけをする場合には、開発公社理事会を当然開催しておかなければならないというふうに思うわけですよ。だから、それまでに理事会を何回開かれ、どのような説明があつて、その中に理事会のどういう同意というものがなされたのか、それが1点。

もう1つは、今回あえて一般じゃなくして開発公社で債務負担行為を行うということの中で、ただいま副市長の説明では、結局、将来的には国、県の補助金というふうなことをるる申されたわけでありましてけれども、そこら辺の確固たる保証、責任というのですか、そこら辺を持ってこのような形で買うような経緯に至ったのか。もし、そこら辺が保証されていないとするならば、開発公社で買うことによって利息を伴ってその後は市にとっても大きな負担になってくるわけです。そういうトータルなことを含めて、恐らくされたというふうに私は認識をしておりますけれども、その2点についてお答えをいただきたいと思います。

○議長（田口好秋君）

副市長。

○副市長（中島庸二君）

お答え申し上げます。

まず、副市長として答弁をさせていただきます。

今回の買い入れにつきましては、長年懸案がございました。平成4年に県の許可がありまして、それでずっと安定型でございますけれども、産業廃棄物をずっとされておりました。それで、特に嬉野町の浄水場の上部ということで非常に苦慮をして長年の懸案として持つておったわけでございます。

ただ、今回そういう形で取得をするに当たっては、ぜひ大野原の住民の方のいろいろ反対もございまして、また、市としても当然反対をしてきたわけでございますけれども、ことしの9月でちょうど5年の期限が切れまして、再拡張したいという要望がございましたので、これについては将来的にいろいろ問題があれば非常に困るということで、市で取得をしたいということがまず1点でございます。

ただ、この経緯につきましてはいろいろございますけれども、価格のことは別としても、議会のほうにもお願いをして、水の検査とか、また今回の売買価格の適正化というような、いろいろな予算をお願いしました。しかし、それであっても、やっぱり将来的には、この際変えるならば、嬉野市民のため、また観光施策のためにもぜひ取得したほうがいいだろうということが基本にございます。

特には、申されましたけれども、将来計画があるのかということでございますけれども、（「それは私は聞いていない」と呼ぶ者あり）いや、将来計画というか、確認がとれているかということでございますけれども、確かに、県の担当にも来ていただいて、いろいろ心配をしていただきました。そういう形で県も応援をしていただくという話はされております。

それと、再三この市議会の皆様方にも応援をしていただきまして、要望をしていただいております。そういう形をぜひ生かしながら、何とか県、国の補助なり事業の推進、そういう方にはぜひ応援をしていただきたいということでございます。

ただ、この取得につきましては、うちのほうも先ほど申し上げましたように、いろんな活用があるんじゃないだろうかということで、諸般の事情を見ながら、どうしても取得したいということでございます。

それとあと、公社の立場でちょっと申し上げます。今回の理事会は、緊急にこういう形で理事会を開かせていただきました。ただ、これも5月30日に第1回の理事会をやったわけですが、そのときに一応こういう案件があるかもしれないから、追加の理事会は行うかわかりませんということは若干お願いをしておりました。そういうことで、唐突に出てきたものではございません。

ただ、確かに理事会の中で、先ほど山口政人議員から質問がございましたような意見がちょうど2つ出てまいりました。何で市が取得するかということと、また、将来的な計画はあるのかということ、まさに議員がおっしゃったような形で言われました。（「もう経緯じゃないんです、結論を言ってくださいよ。結論を」と呼ぶ者あり）いや、そういうことで、一応理事会にはきちんと説明して了承いただいたものでございます。

以上です。

○議長（田口好秋君）

山口要議員。

○17番（山口 要君）

前段の部分はちょっと置いといて、開発公社の存在意義というんですか、今回、私はびっくりしたんですね。実は、私は今回、このような開発公社が買うに至った経緯、そのことについては異論がない。そういうこともあるのかなというふうに思ったわけです。でも、どういうふうな形で開発公社が買うに至ったか、そこでどういう議論が交わされたのかということを知りたかった。だから、あえて私は公社の理事会の議事録を出してくださいということをお願いいたしました。

しかしながら、そのことについて理事会があったのは、金曜日でしょう。予算提出はいつですか。理事会の事後承認ですよ。そういう形で議案として出すんですか。それは議会軽視としか私には言いようがない。例えば、今、開発公社の理事長という立場で言われるとするならば、5月の何日に前段の複線はあったにせよ、そこはそういう形だけであって、何にも

承認を受けていないんですよね。最終的に承認したのは、予算を出した後の先週の金曜日でしょう。私は、あえてこのことを言うつもりじゃなかったんですけども、議事録のことを聞いて、びっくりしたんですよ。じゃ、誰が、どこで、どういう形でこれを買うという経緯に至ったのか、承認は誰がしたのか、ならば開発公社は要らないんじゃないですか、理事というのは。理事長だけでいいんじゃないですか。そういう形で予算提出がされるとするならば。

私は、執行部をひどく追及するつもりは何もないんですけども、こういう形で進められていくと、残念でならないんですよ。前回の法制審議会の際に申し上げたんですけども、そういう委員会、開発公社等、外郭団体含めてある中において、何事もなかったかのようにスムーズにこういうふうな形で進んでいく。議会からそれら質問、追及がなければすんなり通っていきたくてというふうなイージーな気持ちでこういうことをされること自体について不満、やりきれない。私はこれが日常茶飯事とは言いたくないけれども、本当に何とも言いようがないんですよ。もう、あとそれ以上言いませんけれどもね、とりあえず、そのことについてだけお答えいただきたい。もう3回目質問しません。僕はあとの皆さん方にも、執行部の皆さん方に言うておきます。きちっとした形で議案として提出するように今からお願いをしておきます。いいですね。

○議長（田口好秋君）

副市長。

○副市長（中島庸二君）

お答えいたします。

まず、おわび申し上げます。確かにこの手続上は御指摘のどおりだと思います。ただ、この案件が決まりましたのが、実は26日ぐらいだったと思います。（「もう弁解よろしゅうや」と呼ぶ者あり）いや、だから、6月……（「議案として出したんだから」と呼ぶ者あり）いや、6月27日に買い取り申し入れを受けて、早急にやらなくてはいけないということがありましたので、ちょっと日にちが前後いたしましたのは、確かに申しわけないと思っています。

ただ、後で考えてみれば、今おっしゃったような形だと思います。それで、全協でも2回、3月17日と6月13日に説明をしておりますけれども、確かに今おっしゃったのは、議会軽視というか、私はどっちかという、公社の立場でいいますと、公社も軽視しとったなということで反省しております。（「両方ともですよ」と呼ぶ者あり）はい。それで、多分お願いできれば、何とか事業としては推進していただくんだらうということで議会にはお諮りした経緯がございます。そういうことで、特段、議会軽視したということではございません。実際この日にちは、どうさかのぼっても、私もどう説明しても弁解のしようがございません。それは絶対こちらのほうが執行部として提出する時期が、公社にしても議会にしても本当に

おわび申し上げます。

ただ、実際、弁解がましくなりますけれども、早急に議会にお願いして、これを決めて締結に至らなければ、相手の事情もございましたので、緊急に内々でお願いをして、ぜひできないかということで開かせていただいております。そういうことで御了承と、またおわびを申し上げます。よろしく申し上げます。

○議長（田口好秋君）

ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。これで議案第56号の質疑を終わります。

これで提出議案の質疑を終わります。

日程第5．討論・採決を行います。

議案第56号 平成26年度嬉野市一般会計補正予算（第3号）について討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから議案第56号について採決します。

議案第56号を原案のとおり決定することについて賛否の投票を求めます。投票をお願いします。

〔押しボタン式投票〕

これで投票を締め切ります。

賛成多数であります。したがって、議案第56号 平成26年度嬉野市一般会計補正予算（第3号）は可決いたしました。

以上で本臨時会に提出された案件の質疑、討論、採決など、全ての日程が終了いたしました。

お諮りします。ただいま議決されました議案につきましては、字句、数字その他の整理を要するものについては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に委任されたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。したがって、字句、数字その他の整理は議長に委任することに決定いたしました。

会議を閉じます。

平成26年第2回嬉野市議会臨時会を閉会いたします。どうも御苦労さまでございました。

午前10時36分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

議 長 田 口 好 秋

署名議員 山 口 政 人

署名議員 芦 塚 典 子

署名議員 大 島 恒 典